

文章を正しく読み取り、自分の考えを深めよう
〈広報誌〉

組 番 氏名

ひなたさんが学校から帰宅すると、郵便受けに市の広報誌が入っていました。何気なくページをめくっていくうち、ふと、ある記事が目にとまりました。

ニーハオ！ 都城の皆さん

都城の皆さん、はじめまして。中国の重慶市ちやうけいしから参りました〇〇と申します。四月から都城で国際交流員として仕事をすることになりました。非常に貴重な機会を得て、とてもありがたく感じています。

私は大学三年生の時、大学生訪日団に参加し、十日間日本に滞在したことがあります。短期間でしたが、印象深く、将来、日本で仕事をしてみたいと思いました。大学では、四年間、日本語を勉強しましたが、日本に関する知識は、本や資料で学ぶだけでした。これから、都城の人たちとたくさん交流し、これまで学んだ日本語を活用して、私の故郷、重慶市を含めて中国のことを伝えたいと思っています。

重慶市役所で日本との交流業務を担当していた時、「草の根レベルの交流」という言葉をよく耳にしました。中国と日本の相互理解を深めるために、微力ながら貢献したいと思っています。これから一年間の交流活動が楽しみです。都城の皆さん、よろしくお願います。

【広報 都城 No.114】

ひなたさんは、「草の根レベルの交流」という言葉がよく分からなかったので、国語辞典を開いてみました。すると、次のように記してありました。

【資料1】

くさのね 【草の根】①隠れて見えない草の根元 ②民衆ひとりひとり

(一) ひなたさんは、「来日した国際交流員は、『草の根レベルの交流』をがんばりたいと考えているのだ」と思いました。ここでいう、「草の根レベルの交流」とは、どういう意味だとあなた自身は考えますか。【資料1】も参考にし、説明しなさい。



【広報 都城 No.114】

その日の夕食での、お母さん、ひなたさん、妹のあかりさんの会話です。

ひなたさん
お母さん
ひなたさん

ねえ、お母さん。今日届いた都城市の広報誌、もう見た？
読んだわよ。それがどうしたの。

初めて中身を見たけれど、いろんなことが書いてあるのね。知らなかった。

お母さん、表紙に「幸せ上々、みやこのじょう」って書いてあったじゃない。おも
しろいと思わなかった？

お母さん

そうそう、ひなたは、気付いたのね。 おもしろいよね。

あかりさん

お姉ちゃん、どこどこ？ これ、幸せ「うえうえ」じゃないの。

ひなたさん

違うわよ、これはね、「じょうじょう」っていうのよ。

「じょうじょう」と「みやこのじょう」の「じょう」が同じになっているでしょう。
言葉で遊んでいるのよ。言葉の遊び。

あかりさん

ああ、そういうことね。確かに。でも、「上々」ってどういう意味なの。

ひなたさん

えっと、辞書にはね、「まことにけっこうなこと・完璧・欠点のない」とあるよ。

けっこうって、どういう意味だったかな。ええっと・・あ、大変よいつて書いて
あるわよ。

お母さん

ねえ、ひなた。そういえば、さつき、「広報誌、見た」って言ったわよね。お母さ
んは、「読んだ」が正しいと思うのだけれど。

(二) 「上々」という語句を用いて文を作成しなさい。その際、四文節以上の一文で作
成すること。

(三) 「見る」と「読む」の使い方について、母親の意見に対して、あなた自身はどう
考えますか。次の条件を全て踏まえ答えなさい。

条件

一文目で結論、二文目で根拠をあげること。その際、【資料2】を活用すること。

【資料2】

【見る】

目でものの形や色などを感じとる。目とおす。(書類などの全体をざっと見る)

調べる。眺める。見物・見学する。そのことに当たる。取り扱う。世話をする。

【読む】

文字で書いた言葉や図表、記号などを見て、その意味を理解する。文字で書いた言葉
を声に出しながらたどっていく。